

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭57-113364

⑤ Int. Cl.<sup>3</sup>  
G 01 N 33/54

識別記号

庁内整理番号  
7906-2G

⑬ 公開 昭和57年(1982)7月14日

発明の数 1  
審査請求 有

(全 5 頁)

⑭ 反応容器

川崎市高津区宇奈根731-1株  
式会社常光東京技術研究所内

⑯ 特 願 昭55-185753  
⑰ 出 願 昭55(1980)12月31日  
⑱ 発 明 者 若林淳美

⑲ 出 願 人 株式会社常光  
東京都文京区本郷3-19-4  
⑳ 代 理 人 弁理士 佐伯忠生

明 細 書

1. 発明の名称 反応容器
2. 特許請求の範囲

- (1) 凝集反応を測定する反応容器であって、この反応容器は平盤上のプレートに1乃至複数の凹所を形成し、かつこの凹所内にあらかじめ抗血清、緩衝液等の凝集塊を生ぜしめる反応試薬を充填するとともに、プレート上面に非通気性の透明フィルム乃至シートを貼着して上記凹所内に充填された試薬を保護密封したことを特徴とする反応容器。
- (2) 上記凹所は試薬保存部分と反応部分とに区画されているとともに、外部操作により連通するよう構成されていることを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の反応容器。
- (3) 上記反応容器は少くともその凹所が光透過性材料から構成されていることを特徴とする特許請求の範囲第1項または第2項記載の反応容器。

て、被検体との反応による生成粒子と反対色に着色されていることを特徴とする特許請求の範囲第1項または第2項記載の反応容器。

- (5) 上記凹所は複数形成されているとともに、これら各凹所の各試薬保存部分には、種類、濃度及び／あるいは量の異なる試薬が夫々に充填されていることを特徴とする特許請求の範囲第1項乃至第4項のいずれかに記載の反応容器。

- (6) 上記各試薬保存部分には同一試薬であって、濃度及び／あるいは量の異なる試薬が夫々に充填されていることを特徴とする特許請求の範囲第5項記載の反応容器。

3. 発明の詳細な説明

この発明は凝集反応を利用した臨床検査に際して用いられる抗血清等の試薬を一回の検査に必要な分量だけ小分けして保存し、かつ検査に際してはこの保存部分を反応容器としてそのまま用いることができるようにした反応容器に関する。

この凹所内におい

REFERENCE (3)

Application No.: 185753/1980  
Application Date: December 31, 1980

Publication No.: 113364/1982  
Publication Date: July 14, 1982

Applicant: Tsunemitsu Corp.  
Inventor: Wakabayashi Atumi

Title of Invention: "Reaction Container"

Number of Independent Claim(s): 6

**CONSTITUTION:** A flat plate 2, which is made of plastics or glass, etc., is provided with circular depressions 3, and these depressions 3 are filled, by an automatic distributing machine, etc., with a reagent and a buffer solution, etc., to be used for aggregating reaction. On the top surface of the plate 2, a non-air-permeable transparent film 4 is stuck in order to seal and protect the reagent in the depressions 3. When a reaction container 1 is used, a pipette 30 is stuck into the film 4 to distribute specimen into the depressions 3. And then, in order to accelerate reaction between the specimen and the reagent which has already been put into the depressions to prescribed volume, the container 1 is shaken, and then, the container is set still for confirmation of presence of lumpy aggregate by the reaction between the specimen and the reagent. It is possible, by doing so, to examine a large quantity of specimen with rapidity and accuracy.